

ドキュメンタリー報告書・09 SEPTEMBER 2026

真紅の冬

イラン・イスラム共和国における2025-26年蜂起の弾圧：ドキュメンタリー報告書



42,000+

殺害された抗議者

100,000+

拘束

200+

都市、全31州

1月8日～9日

最も死者数の多い夜

iranholocaust.orgの公開アーカイブから編集。独立したドキュメンテーションプロジェクトであり、いかなる政府、政党、反対派組織とも提携していません。CC BY 4.0の下で公開されています。

執行概要

2025年12月下旬から2026年2月にかけて、イラン・イスラム共和国はその歴史上最大かつ持続的な抗議運動に直面した。全31州の200以上の都市で記録されたデモは、実弾射撃、大量逮捕、そして2026年1月からは拘束された抗議者の処刑加速という形で対応された。

本報告書は、iranholocaust.orgのアーカイブが保有する公開記録、すなわち抗議活動の年表、2026年1月8日および9日の夜の出来事、独立監視機関がまとめた死傷者および拘留者数、弾圧を実行した機関、ならびに外国政府および多国間機関の対応をまとめたものである。各セクションは、項目ごとの情報源が記載されたアーカイブの対応する公開ページから抜粋されている。

ここに引用されている数値は、インターネット制限、非公開法廷、独立調査員へのアクセス拒否という状況下でまとめられた推定値である。これらは確定された総数としてではなく、文書化された最小値として解釈されるべきである。限界についてはセクション7で述べられている。

主な調査結果

1. 非武装のデモ参加者に対する致死武力の行使は、暴力に対する例外的な対応としてではなく、群衆抑制の日常的な手段として用いられた。
2. 2026年1月8日および9日の夜は、蜂起期間中で最も死者数の多い期間として記録されており、ギーラーン州のラシュト市が単一の夜で最高の犠牲者数を記録した。
3. 被告側が選んだ弁護人がおらず、被告らが強制されたと述べた自白に基づいて行われた非公開手続きによる処刑は、期間中を通じて継続された。
4. 通信遮断は、最も激しい作戦と連動して実施され、同時代の文書化を抑制し、記録された死傷者数を低下させた。
5. 国際社会の反応は、ほとんどが声明に留まった。懸念表明が構造的制裁、関係格下げ、または説明責任メカニズムへの付託と一致することは稀であった。
6. 証拠の根拠は、国家の意図により不完全である。独立した監視者、家族、ディアスポラネットワークが主要な文書化経路であり続けている。

目次

1. 背景：蜂起はいかに始まったか
 2. 抗議活動の年表
 3. 2026年1月8日および9日の夜
 4. 死傷者、拘留者、および処刑
 5. 弾圧機構
 6. 国際社会の対応
 7. 方法論と限界
- 図版：死亡者、氏名
8. 提言
- 付録：情報源およびデータセット

コンテンツに関する注意：本報告書は、未成年者を含む殺害、拷問、拘留中の死亡、性的暴力、処刑について記述しています。

セクション 1

背景：蜂起はいかに始まったか

簡潔な答え。 イラン人が抗議しているのは、40年にわたる不満が収束したためだ。すなわち、強制ヒジャブと女性の身体への取り締まり、大量処刑、崩壊した経済、そして水や電気といった基本的なニーズの不足である。現在の抗議の波は2025年12月下旬に始まり、200以上の都市に拡大。実弾射撃、大量逮捕、インターネット遮断で対処されている。

人々は何に抗議しているのか？

- **強制ヒジャブと女性への取り締まり。**「指導パトロール」による車内や職場での女性監視、そして2022年のマフサ・アミニの死は、私生活に対する国家の統制の象徴であり続けている。
- **処刑。**イランは中国に次いで世界で最も多くの処刑を行っており、略式裁判で有罪となった抗議者も含まれる。詳しくは処刑。
- **経済崩壊。**通貨下落、インフレ、未払い賃金により、給与所得者の中流階級の多くが貧困に追い込まれている。
- **インフラの機能不全。**計画停電、冬季のガス不足、深刻な水不足が、これまでの抗議の波では沈黙を保っていた地方都市でも抗議行動を引き起こしている。
- **変革への道筋なし。**審査された選挙、投獄された弁護士、廃刊に追い込まれた新聞により、街頭が唯一残された手段となっている。

現在の抗議活動はいつ始まったのか？

「クリムゾン・ウィンター 蜂起は2025年12月下旬に始まり、2026年1月に急激に激化した。2026年1月8日と9日の夜は、一晩あたりの死者数が最も多く、ラシュトが最も被害の大きい都市となった。

これは2009年、2019年、2022年とどう違うのか？

波	引き金	核心的要求
2009年 緑の運動	大統領選挙の不正疑惑	体制内での改革
2019年 アバン	ガソリン価格の値上げ	経済的救済、その後は体制転換
2022年 女、命、自由	マフサ・アミニの死	強制ヒジャブと聖職者支配の終焉
2025～2026年 クリムゾン・ウィンター	累積的：物価高、停電、処刑	イスラム共和国の終焉

今回の波は地理的により広範囲で、より労働者階級的であり、もはや改革を求めている。スローガンは最高指導者を直接標的にしている。

政府はどのように対応してきたのか？

実弾、顔面に向けられた散弾銃の弾、大量拘束、そして最悪の夜に合わせた全国的なインターネット遮断によって。記録された総数と独立した推定値の範囲は、死者数 ページ；記録された犠牲者の氏名は 追悼。

国外の人は何ができるか？

犠牲者を公に名指しし、政府に指定や拘束者の案件について圧力をかけ、検証された報道を支援し、イラン人が自ら遮断されたときも記録にアクセスできるようにする。具体的な手順は 行動 および現在の キャンペーン。

何人が殺されたのか？

2026年2月下旬までに、監視団は2,400人以上の抗議者の殺害と40,000人以上の拘束を記録した。実際の数字はインターネット遮断のためにさらに高い可能性がある。

「女性、命、自由」とはどういう意味か？

ザン、ゼンデギー、アザディ——2022年に全国で採用されたクルド起源のスローガンで、女性の自由をすべての人の自由の条件として位置づける。

イランではインターネットが遮断されているのか？

イランは繰り返し全国のおよび地域的な遮断を実施しており、通常は最も激しい弾圧の数時間前に行われ、犠牲者の報告を遅らせ、抑圧している。

発端：弾圧機構の構築

ホメイニ師の帰国から3日後の夜、**1979年2月15日夜**、シャー（国王）軍の将軍4名がテヘランのレファフ学校の屋上で処刑されました。彼らは、「首吊り判事」こと**サーデグ・ハルハーリー**師が一人で主宰する革命裁判所で裁かれました。新国家は10ヶ月のうちに500人以上を処刑。革命裁判所、道徳警察、イスラム革命防衛隊、死の委員会といったイスラム共和国の制度的枠組みは、この最初の数ヶ月で固まりました。

引用元：ボロウマンド・センター、アムネスティ・インターナショナル（1980年）、エルヴァンド・アブラハミアン著『Tortured Confessions（拷問による自白）』。

恐怖政治

1981年6月20日の大規模デモが弾圧された後、体制は左派、トゥデ党、独立系左派グループ、そして**バハイ共同体**に牙を剥きました。アムネスティは1981年だけで少なくとも2,946人の処刑を記録しましたが、実際の数はいくつか上回ると考えられています。エヴィン刑務所の検事**アサドッラー・ラージェヴァルディー**は、大規模な拷問と処刑の設計者となりました。1982年までに主要な反体制組織のほとんどは壊滅し、指導者らは殺害され、メンバーは地下活動または亡命を余儀なくされました。

刑務所での大虐殺

1988年7月下旬のホメイニ師の秘密のファトワを受け、エヴィン、ゴハルダシュト、及び全国の刑務所の「死の委員会」は、政治犯（その多くは既に服役中でした）を一人わずか数分間尋問しました。自らの信条を放棄しなかった者は絞首刑に処されました。2ヶ月間で処刑された者の数は、推定4,500人から3万人以上にのぼります。遺体は**ハヴァラン**などの無記名の集団墓地に埋められ、遺族は今日に至るまで死者を追悼することを禁じられています。

当時ホメイニ師の指定後継者であった大アーヤトッラー、**ホセイン＝アリー・モンタゼリー**師は、この殺戮に反対しこう述べました。「イスラム共和国における最大の犯罪、歴史が我々を断罪することになるであろう犯罪が、あなたの命令によって犯されたのです」。彼は後継者の座から外されました。

連鎖殺人

1988年から1998年の間に、数十人の反体制派、知識人、作家がイラン国内で情報省の職員によって殺害されました。**ダリウシュ・フォルハル**と**パルヴァネ・エスタンダリ**（1998年11月22日）、**モハンマド・ジャファル・プーヤンデ**、そして**モハンマド・モフタリ**の殺害は、ついに政府に犯行を認めさせました。国家の対応は、副大臣であった**サイード・エマミ**を「主犯」と特定することでしたが、彼は1999年に拘留中に死亡しました。公式発表では脱毛クリームを飲んでの自殺とされています。

学生蜂起

『サラム』紙の廃刊後、テヘラン大学の学生たちは1999年7月8日に平和的な抗議活動を行いました。その夜、私服のアンサール・エ・ヘズボラとバシジが学生寮を襲撃。学生たちは上層階から投げ落とされました。公式には6人の死亡が確認されましたが、活動家たちは犠牲者の数はもっと多いと考えています。学生リーダーの一人、**アクバル・モハンマディ**は、長年の拷問の末に拘留中に死亡しました。「ティール月18日」世代は、その後20年にわたる学生の反体制運動の種となりました。

緑の運動

2009年6月12日のマフムード・アフマディネジャド大統領の再選に異議が唱えられ、何百万人もの人々が「私の票はどこへ？」のスローガンの下で街頭に出ました。**2009年6月20日**、テヘランのカルガル通りで、26歳の**ネダ・アガソルタン**が心臓を撃ち抜かれて死亡しました。彼女の死の映像は、デジタル時代の象徴的なイメージの一つとなりました。**カフリザク**拘置所では、体制内部関係者の息子である**モフセン・ルホラミニ**を含む被拘束者が拷問の末に死亡しました。その後の弾圧で、少なくとも72人が死亡し、数千人が投獄されました。

パンと水の歳月

2017年12月の「デイ月」抗議デモから、ハフト・タッペの労働ストライキ、2019年の燃料価格高騰に端を発した**「血の11月」**蜂起（アムネ스티：インターネットが遮断される中、1週間足らずで少なくとも**304人の抗議者が殺害**）、2020年1月8日にイスラム革命防衛隊（IRGC）のミサイルによって**ウクライナ国際航空PS752便**が撃墜され176人（主にイラン人とイラン系カナダ人）が死亡した事件、そして2021年のフーゼスターン州での水不足抗議デモに至るまで、イラン国民は自国の路上で何度も実弾に直面しました。しかし、これらのいずれも欧米の政策を構造的に変えるには至りませんでした。

女性、命、自由。

2022年9月13日、22歳のクルド人女性**マフサ・ジナ・アミニ**2022年9月13日、22歳のクルド人女性マフサ・ジナ・アミニが、ヒジャブの「不適切な着用」を理由にテヘランの道徳警察に逮捕されました。彼女は拘留中に昏睡状態に陥り、9月16日に死亡しました。サックスで行われた彼女の葬儀でのスローガン「ジン、ジャン、アーザディ（女性、命、自由）」は、イラン全土の160以上の都市に広がりました。**ニカ・シャカラミ**（16歳）、**サリナ・エスマイルザデ**（16歳）、**ハディス・ナジャフィ**（22歳）、**キアン・ピルファラク**（9歳）など、数百人以上が治安部隊によって殺害されました。約230校の女子生徒が化学物質で毒殺されました。**モフセン・シェカリ**（2022年12月8日）と**マジッドレザ・ラフナヴァルド**（2022年12月12日）は、抗議参加者として初めて公開処刑されました。

エヴィン刑務所に収監中のナルゲス・モハンマディは、**ナルゲス・モハンマディ**は、2023年ノーベル平和賞を受賞しました。国連の事実調査団は、人道に対する罪を記録しました。

血の冬。

リアルが1ドル15万トマンにまで暴落したことで、テヘランの大バザールは全面的なストライキに突入しました。抗議活動は180以上の都市に拡大し、**2026年1月8日**体制は全面的な軍事鎮圧を明確に命令し、イスラム共和国史上最も激しい弾圧が開始されました。インターネット遮断の後、**ラシュトの虐殺人**、HRANAが検証した「血の冬」リストの**6,4883,117人**、そして死者数を**7,007人**、そして死者数を**33,000人から36,500人**とする流出したIRGC情報機関の報告があります。2026年2月11日、ペゼシュキヤーン大統領は国民に公式に謝罪しました。

セクション 2

抗議活動の年表

イスラム共和国史上最も多くの死者を出した月となった蜂起は、1月8日に始まったわけではない。その5週間前、通貨暴落と閉鎖されたバザールに端を発する。このページは2025年12月を、それ自体の文脈で記録する。

日ごとに

12月上旬	リアル暴落 通貨は1ドル12万トマンを超えて下落。パン、医薬品、燃料価格は毎週変動した。テヘラン、カラジ、エスファハーンでは1日6〜8時間の計画停電が常態化した。
12月中旬	バザール・ストライキ始まる テヘラン大バザールの商人たちが為替レートと輸入通関をめぐり店を閉鎖。ストライキは数日のうちにタブリーズ、エスファハーン、マシュハドに拡大した。
12月下旬	物価から体制へ シュプレヒコールは生活費から国家そのものへと移行した。180以上の都市で抗議が報告された。トラック運転手や石油化学の契約労働者も断続的なストップで加わった。
12月28日〜 31日	最初の死者と最初の停電 治安部隊は複数の地方都市で群衆に発砲した。クルド人・バルーチ人居住地域では夜間にモバイルインターネットが制限された。これは1月の殺戮に先立つパターンである。

12月が重要な理由

1月の殺戮は通常、8日から始まったかのように報じられる。実際はそうではない。2025年12月、抗議運動の性質が変化した。為替レートをめぐるバザールのストライキから、体制に反対する全国的な運動へ。警察による封じ込めから、実弾の初使用と地域的なインターネット遮断へと変わった。「二夜」のすべての要素は、12月最終週に予行演習されていた。

地理的な説明にもなる。蜂起はテヘラン北部で始まったのではない。商業地区と地方都市で始まった。ラシュト、ニーシャープール、マルヴダシュト、ジャーヴァンルード、アズナー、ケルマーンシャー——特派員事務所も通信帯域もない場所だ。

12月に計上されたもの

どの監視機関も12月単独の数字を公表していない。HRANAが検証した「クリムゾン・ウィンター」リスト（2026年2月23日時点で確定死者数7,007人）は、2025年12月下旬を期間の開始としている。2026年2月1日に公表された政府公式の集計（3,117人）も同じ期間を対象としている。よくある質問

2025年12月のイラン抗議運動のきっかけは？

通貨暴落、主食価格の高騰、長期にわたる電力・ガス供給停止に加え、公共部門の賃金未払い。数日以内に要求は経済救済から最高指導者の退陣へと変わった。

2026年1月のイランで起きたこと：クリムゾン・ウィンター抗議運動、1月8日〜9日の二夜、ラシュト虐殺、そして公表されたすべての死者数の日付記録。

関連: イスラエル、米国、イラン — イラン人は空爆をどう見たか: 2025年6月の12日間戦争、2026年の「エピック・フューリー作戦」、標的記録、そしてそれでも殺された民間人。

31日間で、物価と停電をきっかけに始まった抗議運動は、1979年以来、イスラム共和国とその国民の間で最も死者の出た衝突となった。このページは、何が起きたかを日ごとに記録し、公表されたすべての死者数を並べて、読者がどこで食い違っているかを正確に確認できるようにする。

日々の記録

2025年	弾圧前
12月31日～	アムネスティ・インターナショナルとヒューマン・ライツ・ウォッチは、8州13都市で少なくとも28人の抗議者と傍観者が死亡したことを確認した。イラーム州マレクシャヒでは、レザー・アジームザーデ、ラティーフ・カーミ、メフディー・エマーミープール、ファーレス（モフセン）・アガー・モハンマディ、モハンマド・レザー・カラミが、バシジ
2026年1月3日	基地内から発砲したイスラム革命防衛隊（IRGC）部隊により射殺された。ロレスターン州アズナでは、ヴァハブ・ムーサヴィー、モスタファー・ファラーヒー、シャーヤーン・アサドッラーヒー、アフマドレザー・アマーニー、レザー・モラディー・アブドルヴァンド、ターハー・サファリー（16歳、遺体は家族に引き渡されず）が殺害された。
1月3日	最高指導部からの合図 アリー・ハーメネイーは「暴徒はおとなしくさせるべきだ」と公に述べた。
1月5日	寛容なし 司法府長官は全国の検察官に対し、拘束された抗議者に「寛容を示さない」よう指示した。
1月8日～	二つの夜
9日	国家は警察による封じ込めから全面的な軍事弾圧へと移行した。IRGCは非武装の市民に対して致命的な武力行使を許可する明確な命令を受けた。狙撃兵、装甲兵員輸送車、ヘリコプターによる監視が配備され、医療施設は標的にされ、負傷した抗議者を治療する医師は逮捕された。ラシュトでは、HRANAが少なくとも392人の死亡を記録したが、その大部分はインターネット遮断が課された後のものである。「二つの夜」の完全な記録を読む。
1月22日	国連の推計 マイ・サトー国連イラン人権状況特別報告者は、死者数が2万人を超える可能性があると述べた。
1月22日～24日	流出した内部報告書 IRGC情報機関の内部報告書は死者数を33,000～36,500人と推定した。流出した議会報告書は27,500人を引用した。
1月25日	二つの報道、二つの数字 イラン・インターナショナルは、400以上の都市を網羅する最高国家安全保障会議の流出文書を報じた。タイム誌は、1月8日から9日のみの市民病院に登録された抗議関連死のリスト30,304人を報じ、政権が「遺体袋を使い果たし」、「救急車の代わりにセミトレーラトラックを使用した」と述べた2人のイラン高官の話を用いた。
2月1日	公式発表数 ペゼシュキアーン政権は、約214人の治安部隊員を含む3,117人の死亡者数を公表した。
2月23日	『クリムゾン・ウィンター』報告書 HRANAは、確認された死亡者7,007人の実名入りリストを公表した。内訳は、成人デモ参加者6,488人、未成年者236人、治安部隊員207人、非参加者76人で、11,744件がなお審査中である。イラン・インターナショナルは独自に6,634人の氏名をまとめた。

公表されたすべての死者数

情報源	死者数	備考
イラン政府（2026年2月1日）	3,117	公式集計。治安部隊員約214人を含む
HRANA、『クリムゾン・ウィンター』（2026年2月23日）	7,007	確認済み実名リスト。11,744件がなお審査中
イラン・インターナショナル（実名リスト）	6,634	独自に収集した氏名
国連特別報告者（2026年1月22日）	20,000+	可能性のある下限値として示されたもので、確認済みの数ではない
議会内部報告書のリーク	27,500	未確認のリーク
『タイム』誌（2026年1月25日）	30,304	1月8日～9日のみの病院登録記録
イラン革命防衛隊（IRGC）情報機関のリーク文書	33,000-36,500	未確認のリーク。400以上の都市

イラン・インターナショナルは、自らのリストと政府のリストの間で共通する氏名が100件未満であることを確認した。独立した調査に耐える数字がどれであれ、信頼できる最低限のリークだけでも、2026年1月8日～9日

は、現代イラン史上最も死者の多かった2日間の弾圧事件となる。

発生場所

殺害が確認された事例は、ラシュト、テヘラン、マレクシャーヒーとイーラーム州、アズナーとロレスターン州、そしてリークされた最高国家安全保障会議の文書に記載された400以上の都市で記録されている。ラシュトは、その月で最も重い確認死者数を記録した。

2026年1月にイランで何が起きたのか？

2025年12月下旬に始まった抗議活動は全国に拡大した。2026年1月8日～9日、イラン革命防衛隊（IRGC）は非武装の市民に対して致命的な武力行使を命じられ、ラシュト虐殺を含む、イスラム共和国史上最悪の死者を出す48時間が発生した。その月の公表された死者数は、政府発表の3,117人から、リークされたIRGCの数字である33,000～36,500人まで幅がある。

2026年1月のイラン抗議デモで何人が殺害されましたか？

合意された数字は存在しない。ペゼシュキアン政権は2026年2月1日に3,117人と発表した。HRANAの確認済み実名リストは7,007人の死亡を記録した。イラン・インターナショナルは6,634人の名前を収集し、後に最高国家安全保障会議の内部文書入手し、33,000人から36,500人と示唆した。国連特別報告者は1月22日、犠牲者が2万人を超える可能性があるとして述べた。

ラシュト虐殺とは何ですか？

2026年1月の弾圧で記録された単独の事件としては最も死者数が多い。HRANAはラシュトで少なくとも392人が殺害されたことを記録しており、その大多数は同市にインターネット遮断が課された後に発生した。

2026年2月は「クリムゾン・ウィンター」を閉じ、別の何かを開いた。このページはその月を日ごとに記録する：公表された競合する死者数、イスラム共和国史上初の大統領謝罪、そしてその最終日に始まった軍事作戦。

何人殺されたか？ 完全版を見る イラン死者数追跡 一 期間別に見た、確認された名前付きの死者数、公式発表数、そして両者の乖離。

日々の記録

2月1日	公式発表の死者数 ペゼシュキアン政権は、治安部隊約214人を含む3,117人の死者数を発表した。これは、政府による初めてにして唯一の全国的な数字である。
2月上旬	抗議としての葬儀 1月の犠牲者を追悼する40日目の法要が、ラシュト、ケルマーンシャー、ジャヴァンルード、ニーシャーブールで群衆を集めた。いくつかの集会は実弾で解散させられ、さらなる死者と葬儀を生んだ。
2月11日	ペゼシュキアン大統領が謝罪 1979年の革命記念日、マスウード・ペゼシュキアン大統領は国民に公に謝罪したが、加害者の特定、調査の開始、あるいは一人の被拘禁者の解放も行わなかった。
2月中旬	死刑執行が再開 抗議活動関連の死刑判決が革命裁判所を通じて進められた。監視団体によれば、拘束者数は10万人を超え、弁護士や医師も拘束された者の中に含まれていた。
2月23日	HRANAがリストを閉鎖 HRANAは「クリムゾン・ウィンター」における確認死者数を7,007人と発表した。内訳は抗議者6,488人、未成年者236人、治安要員207人、傍観者76人で、さらに11,744件が審査中である。
2月28日	「エピック・フューリー作戦」 交渉決裂後、アメリカとイスラエルはイランに対する共同軍事作戦を開始した。最初の12時間で約900回の攻撃が行われた。最高指導者アリー・ハーメネイーは最初の攻撃の波で死亡した。2度目の全国的なインターネット遮断が実施された。

犠牲者数を並べて比較

政府（2026年2月1日）	3,117 — ペゼシュキアン政権の公式集計。治安部隊約214人を含む。
イラン・インターナショナル	6,634 独自に集計された名前付き死者。政府のリストと重複する名前は100件未満。
HRANA（2026年2月23日）	7,007 確認された死者数。さらに11,744件が審査中。
国連特別報告者	20,000+ 2026年1月22日に声明を発表。
漏洩したIRGC情報	33,000～36,500人 2026年1月22～24日付の内部報告書による。

我々はこの論争を単一の数字に集約しない。政府の集計による3,117人という数字と、自国の治安機関の内部推計による33,000人超という数字との間の不一致そのものが、歴史的記録の一部である。

謝罪が果たしたことで果たさなかったこと

マスード・ペゼシュキアン氏による2月11日の声明は、イラン政府の長が国家がこれほどの規模で自国民を殺害したことを認めた初めてのものだった。しかし、司令官の名前は一人も挙げられず、調査も命じられず、囚人は一人も解放されず、政策も変更されなかった。2週間も経たないうちに、裁判所は抗議活動関連の死刑判決を再び言い渡し始めた。

2026年2月にイランで何が起きたのか？

政府は2月1日に公式死者数3,117人を公表。1月の犠牲者のための40日祭の葬儀が銃撃された。ペゼシュキアン大統領は2月11日に国民に公に謝罪。HRANAは2月23日に確認済みリストを死者7,007人で締め切った。そして2月28日、米国とイスラエルはイランに対して「エピック・フューリー作戦」を開始した。

イラン大統領は殺害について謝罪したのか？

はい。2026年2月11日、マスード・ペゼシュキアン大統領は弾圧について国民に公に謝罪した。しかし、この謝罪では加害者の名前は挙げられず、捜査も開始されず、拘束者も解放されず、抗議活動関連の死刑判決は数週間のうちに再開された。

HRANAが確認した死者数は何人か？

2026年2月23日時点で確認された死者は7,007人。内訳は抗議者6,488人、未成年者236人、治安要員207人、傍観者76人で、さらに11,744件が審査中である。

「エピック・フューリー作戦」とは何か？

交渉決裂後、2026年2月28日に米国とイスラエルがイランに対して開始した共同軍事作戦。最初の12時間で約900回の攻撃が行われた。最高指導者アリ・ハメネイ師は初動の攻撃で死亡し、イランは無人機と弾道ミサイルで報復した。

セクション 3

2026年1月8日および9日の夜

二つの夜。

注意：このセクションには、犠牲者や負傷した抗議者、遺体袋、遺体安置所の写真が含まれています。これらの画像は、事件そのものが否定されているという背景に鑑み、報道・記録目的の「公正な利用（フェアユース）」の規定に基づいて掲載されています。

殺害命令。

2026年1月8日、政権による弾圧は警察による鎮圧から全面的な軍事鎮圧へと移行した。イスラム革命防衛隊（IRGC）は、非武装の市民に対して致命的な武力を行使せよという明確な命令を受けた。これはイスラム共和国の歴史上、最も激しい弾圧となった。IRGCとバシージ部隊は狙撃兵、装甲兵員輸送車、ヘリコプターによる監視を投入した。医療施設も標的となり、負傷した抗議者を治療した医師らは逮捕された。

最も死者を出した事件の一つが**2026年のラシュト虐殺**HRANAによると、ラシュトだけで少なくとも392人が殺害され、その圧倒的多数はインターネット遮断が強行された後に発生した。アムネスティ・インターナショナルとヒューマン・ライツ・ウォッチは、本格的な弾圧が始まる前の2025年12月31日から2026年1月3日までに、8州13都市で少なくとも28人の抗議者と通行人が殺害されたと記録している。

イラム州マレクシャヒでは、レザ・アジムザデ、ラティフ・カリミ、メフディ・エマミプール、ファレス（モフセン）・アガ・モハマディ、モハマド・レザ・カラミが、バシージ基地内から発砲したIRGC部隊に射殺された。

ロレスターン州アズナでは、ヴァハブ・ムーサヴィ、モスタファ・ファラヒ、シャヤン・アサドラヒ、アフマドレザ・アマニ、レザ・モラディ・アブドルヴァンド、そして16歳のタハ・サファリが命を落とし、タハの遺体は家族に引き渡されなかった。

1月3日、ハメネイ師は「暴徒はそれぞれの居場所に戻るべきだ」と述べた。1月5日には司法府長官が検察官に対し、「一切の容赦なく」対処するよう命じた。当局は犠牲者の家族に対し、秘密裏の埋葬を拒否すれば遺体を引き渡さないと言われ、さらに事故死を装って国営メディアに出演するよう強要した。

死者をめぐる論争。

ペゼシュキアン政府の公式発表（2026年2月1日発表）では、**3,117人**HRANAが2026年2月23日に発表した報告書『Crimson Winter』に掲載された検証済みの名前入りリストでは、**7,007人**の死亡が確認された。内訳は、成人抗議者6,488人、未成年者236人、治安部隊員207人、非参加者76人であり、11,744件がまだ審査中であった。Iran Internationalは独自に**6,634人**の名前をまとめた。『The Guardian』に語った医師ネットワークは、死者数が**30,000人**を超える可能性があると言った。

『Time』誌は、2026年1月25日に、1月8日から9日の間だけで市民病院に登録された抗議関連の死者数が**30,304人**であったと報じた。これは、政権側が「遺体袋が底をつき」、「救急車ではなくセミトレーラトラックを使用した」と語ったイラン高官2人の言葉を引用したものである。2026年1月22日から24日にかけてリークされたIRGC情報機関の内部報告書では、死者数は**33,000人から36,500人**とされており、これらの数字は、Iran Internationalが1月25日にリークされた国家最高安全保障評議会の文書から、400以上の都市を対象として発表したものである。リークされた議会報告書では**27,500人**と引用されている。イランの人権に関する国連特別報告官マイ・サトウは、1月22日に死者数が**20,000人**を超える可能性があると言った。レザ・パフラヴィーは、『サンデー・タイムズ』に情報を提供した国外ネットワークの資料を引用し、テヘランの約15,000人を含め、合計約**50,000人**とした。

いずれの数字が独立した調査によって立証されるにせよ、イラン・インターナショナルがリークした「匿名扱いの死者36,500人」という下限値でさえ、2026年1月8日から9日の両日を現代イラン史における**最も死者を出した2日間の弾圧**としている。イラン・インターナショナルは、自らのリストと政府のリストで重複する名前が100に満たないことを指摘し、公式集計を「現代イラン史における最大規模の街頭虐殺を矮小化しようとする恥ずべき試み」と評した。2026年2月11日、マースード・ペゼシュキアン大統領は、この虐殺について国民に公に謝罪した。これは歴史的にも異例の事実認定であった。

目撃者の証言。

イスファハンにある病院の医師が、The Center for Human Rights in Iranのインタビューで、一晩で**18件の連続的な頭部外傷手術**のインタビューで、一晩で

2026年1月25日を行ったと語った。手術室の外の側溝には血が溜まっていた。病院の記録では死者数が改ざんされた。遺体は午前3時にバシージ隊員によって遺体安置所から持ち去られ、身元不明者として埋葬された。遺体を探しに来た家族は、証言の撤回を拒めば秘密裏に埋葬すると脅された。「**遺体袋が底をついた。救急車ではなくセミトレーラトラックを使った。**」

ラシュトでは、IRGCとバシージ部隊が出口を封鎖した後、歴史ある屋根付きバザールに火を放ち、煙から逃げ惑う市民に実弾を発砲した。HRANAは、ラシュトだけで少なくとも392人の死者を記録し、Iran HRMは最大3,000人と記録した。生存者は、負傷者に対して「とどめの一撃」が加えられたと証言している。

「血の中を歩いていた。」

匿名を条件に『ル・モンド』の取材に応じたイランの医師や看護師たちは、救急外来で溢れかえる患者の処置に追われ、清掃すらままならない惨状を語った。テヘランの公立病院に勤務するある医師は、スタッフが3交代制で頭蓋骨や胸部から銃弾を取り出し続け、廊下には負傷者が次々と運び込まれ、看護助手の対応が追いつかなかったと証言した。

「血の中を歩いているようでした」と、ある若手外科医は語った。「モップを絞ると水が赤く染まった。子供たちも運ばれてきた。顔を破壊された少年たちもいた」。病院幹部からは、解雇を盾に、抗議活動による負傷者を「交通事故」「高所からの転落」「原因不明」といった無関係の診断コードで記録するよう命じられた。2日目の夜には遺体袋が底をついた。

セクション 4

死傷者、拘留者、および処刑

簡潔な答え： 2025～2026年の「クリムゾン・ウィンター」蜂起において、HRANAは確認済みの実名死者として **7,007人**（2026年2月23日時点）を報告——内訳は成人抗議者6,488人、未成年者236人、治安要員207人。なお、11,744件が審査中である。イラン政府自身も **3,117** を認めており、イラン・インターナショナルが引用した高官の発言では **30,000** を超えるとされる。また、1月8～9日の2夜だけでも病院の記録は **30,304** を記録した。さらに高い推定値として、イラン国内の医師団報告を引用した **サンデー・タイムズ** は1月18日時点で **死者16,500人、負傷者約33万人** と集計。イラン・インターナショナルが精査した流出機密文書では、この2日間の死者数は **36,500** を超えるとされる。また、レザー・パフラヴィーは在外イラン人ネットワークと医療関係者の情報に基づき、テヘランだけで約15,000人を含む、およそ **50,000** 人の死者を報告している。実際の死者数が **100,000** を超えるという主張は広く流布しているが、現時点では裏付けが取れていない。確認済みの **100,000+** という数字は拘束者数である。2022年の「女性、命、自由」蜂起では **551人（子ども71人を含む）** が殺害された。以下のすべての数字には、最終確認日と発表機関が付記されている。

時期別の死者数

期間	死亡者数	拘束者数	時点	出典
2025-2026年 — クリムゾン・ウィンター蜂起	7,007人の確認された名前 3,117人（公式）・16,500人（医師、1月18日）・30,304人（病院登録）・36,500人以上（流出文書）・40,000人（NCRI/ポンペオ）・42,000人以上（推定）・約50,000人（パフラヴィー）・10万人以上（主張、未確認）	100,000+	2026年 2月23 日	HRANA、イラン人権団体、イラン・インターナショナル
2026年1月8-9日 — 二夜	ラシュトのみで392人 48時間で30,304人の病院登録死亡者数が報告	—	2026年 1月24 日	HRANA、タイム、BBC
2022-2023年 — 女性、命、自由	551（子ども71人を含む）	22,000+	2023年 9月15 日	イラン人権団体
2022年9月30日 — ザーヘダンの血の金曜日	96+	—	2023	アムネスティ・インターナショナル
2019年11月 — 燃料価格抗議	304+（ロイターは最大1,500人と報道）	7,000+	2019年 12月	アムネスティ・インターナショナル、ロイター
1988年夏 — 刑務所内大量殺戮	4,500-30,000（推定値）	—	1988	アムネスティ・インターナショナル、国連専門家
2024年の年間司法処刑	972	—	2024	イラン人権団体
2025年の年間司法処刑	1,500+	—	2025	イラン人権団体

2025-2026年：クリムゾン・ウィンター

2025年12月の抗議行動に端を発し、2026年1月8日に爆発的に拡大した蜂起は、イスラム共和国史上最も死者の多い弾圧を生み出した。4つの異なる数字が流通しており、それぞれ異なるものを測定している：

- **7,007** — **確認された氏名**。HRANAは2026年2月23日にリストを締め切った：成人抗議者6,488人、未成年者236人、治安要員207人。さらに11,744件の報告された死亡が審査中である。これは下限値である：すべての

エントリーに氏名、場所、日付が記載されている。

- **3,117 — 政府の認めた数。** 数週間にわたる否定の後、2026年2月1日に発表され、その直後の2月11日に政府が公式謝罪を行った。
- **30,304 — 病院の記録。** タイム誌は、記録にアクセスできる当局者を引用し、1月8日から9日のみに一般病院で登録された抗議関連死のリストを報じた。
- **30,000～42,000以上 — 内部リークと推定値。** イラン・インターナショナルが引用したイラン高官は死者数を3万人超とし、蜂起全体のより広範な推定では4万2千人を超える。

イラン・インターナショナルは独自に6,634人の氏名を収集した。HRANAのリストとの重複は多く、そのため確認された数は推測ではなく信頼できるものとして扱われている。

二夜：2026年1月8日～9日

殺戮の大部分は48時間のうちに行われた。治安部隊は全国的なインターネット遮断後、200以上の都市で群衆に発砲した。**ラシュト**では、HRANAが少なくとも**392人の死亡**を記録しており、その大部分は遮断後であった——蜂起の中で単一都市で最も多い死者数である。複数の州で遺体安置所が飽和状態となり、家族は夜間に埋葬し、事故による死亡と記載された死亡診断書に署名するよう圧力を受けた。完全な検証記事は「二夜」。

で読むことができる。

2022-2023年：女性、命、自由 **イラン人権団体**は、マフサ・ジナ・アミニの死亡（2022年9月）から弾圧終了までの間に、551人の死亡（うち子ども71人）**22,000**を記録した。さらに**人以上が拘束された**。血の金曜日

（2022年9月30日）には、ザヘダンで1日のうちに少なくとも96人が殺害された。

2019年11月、燃料価格抗議デモの最中に、**全国初のインターネット遮断下で1週間足らずの間に304人以上が殺害された**。**ロイター通信**は**イラン当局者の話として、死者数は最大1,500人に上ると報じた**。また、**1988年夏**には、秘密裁判の後、数千人の政治犯が処刑された。その数は4,500人から30,000人と推定され、国連の専門家は**この殺害を人道に対する犯罪と表現している**。完全な年表はこちら。

処刑件数は別途計上

司法処刑は抗議活動による死者とは別に追跡している。イラン人権団体は、**2024年に972件の処刑**、そして**2025年には1,500件以上**を記録した。これは、世界で記録された処刑件数のおよそ4分の3に相当する。公開絞首刑を含む抗議活動関連の処刑は、**処刑** および **公開絞首刑**と抗議活動関連の処刑。

より高い推定値：50,000人、および100,000人を超えるとの主張

確認された名前付きリストは、名前が特定された遺体に基づく最低限の数字である。2026年1月以降に発表されたすべての信頼できる推定値は、これをはるかに上回っている。発言者と発表元を含む日付順のリストは以下の通り：

処刑。

イランは世界で最も人口当たりの処刑数が多い国です。このページでは、2022年9月の「女性、命、自由」蜂起以降にイスラム共和国によって司法処刑された、名前が確認された抗議活動参加者と反体制派を、日付、罪名、出典とともに掲載しています。

- **公開絞首刑と抗議活動関連処刑** — 2020年以降に記録された32件の名前入りリスト。日付、都市、罪名、出典を記載。
- **イランにおける死者数：時期別** — 各弾圧で何人が殺害され、なぜ数字が異なるのか。
- **追悼** — 処刑された人々を含む、個々の犠牲者の完全な経歴。
- **犠牲者データベース** — 両方のページの背後にある検索可能な記録。

イランは毎年何人の人を処刑しているのか？

イラン人権団体（IHR）が記録 **2024年に972件の処刑** — 2008年以来の最高年次数字 — そして少なくとも **2025年に1,500件以上の処刑**、1988年の大量殺戮以来の最高。イランは世界で記録された処刑の **約4件中3件**を占めています。ここでの数字は抗議活動関連の処刑のみを対象としており、薬物関連および一般刑事事件の処刑はIHRが別途追跡しています。

2022～2023年 — 女性、命、自由の処刑

- **モフセン・シェカリ**、23歳 — 2022年12月8日、テヘランで絞首刑。罪状：バシージ隊員を負傷させたとして「モハレベ」（神に対する戦争）。抗議運動で最初に処刑された活動家。
- **マジドレザ・ラフナヴァルド**、23歳 — 2022年12月12日、マシュハドで公開絞首刑。罪状：「モハレベ」。
- **モハンマド・メフディ・カラミ**、22歳 — 2023年1月7日、キャラジで絞首刑。罪状：「地上における腐敗」。空手チャンピオン。ホセイニと共同で裁判を受ける。
- **セイエド・モハンマド・ホセイニ**、39歳 — 2023年1月7日、キャラジで絞首刑。ボランティアの子どもコーチ。尋問中に殴打され、感電させられたと報告される。
- **サーレフ・ミルハシェミ・マジド・カゼミ・サイード・ヤグービ** — 2023年5月19日、イスファハンで絞首刑。「イスファハンの家」事件として知られる。全員が拷問を報告。カゼミの自白音声は刑務所から流出。
- **ミラド・ゾフレヴァンド**、21歳 — 2023年11月23日、ハマダーンで絞首刑。非公開裁判で有罪判決。

2024年の処刑

- **モハンマド・ゴバドルー**、23歳 — 2024年1月23日、キャラジで絞首刑。双極性障害と診断される。執行停止命令にもかかわらず処刑。
- **ファルハド・サリミ** — 2024年1月23日、ゲゼル・ヘサールで絞首刑。14年間再審なしで収監されたスンニ派クルド人。
- **レザ・ラサエイ**、34歳 — 2024年8月6日、絞首刑。ケルマーンシャー出身のヤルサン宗教少数派の抗議活動家。
- **ゴラムレザ・ラサエイ** — 2024年8月、絞首刑。
- **パフシャン・アジジ** — 2024年に死刑判決確定。クルド人女性の権利活動家（2026年6月時点で刑は未執行）。

2025～2026年 真紅の冬の処刑

2026年1月以降、イラン・ヒューマン・ライツは、真紅の冬の蜂起に関連する抗議活動の死刑判決と処刑の急激な加速を記録している。多くの事件は革命裁判所の非公開審理で、独立した弁護人なしで審理され、一部の被告は判決から数日以内に処刑されている。文書化されたすべての事例については、[抗議活動処刑の名簿](#)を参照のこと。また、[追悼より広範なリスト](#)についてはこちら。

トゥーマジ・サーレヒ事件

ラッパー **トゥーマジ・サーレヒ** は、女性・生命・自由の蜂起を支持する楽曲を理由に2024年4月に死刑判決を受けた。国際的な抗議を受け、2024年6月に最高裁判所が判決を破棄したが、現在も収監中である。彼の事件は、体制が死刑を政治的威嚇として利用している最も頻繁に引用される事例である。

どのような罪状が使われるのか？

- **モハーレベ**（「神に対する戦争」） — 刑法第279条に基づき死刑に相当する。
- **エフサデ・フェル・アルズ**（「地上における腐敗」） — 第286条、同じく死刑に相当する。

これら3つの罪状はすべて、拷問によって得られた自白に基づき、捜査中に弁護人を選任する権利がないまま、抗議者に対して日常的に適用されている。

重要ポイント一覧

- **イランは中国を除くどの国よりも多くの人を死刑にしている**、また人口一人当たりでは世界のどの国よりも多い。

- **2024:** イラン人権団体が記録した少なくとも972件の死刑執行 — 20年以上で最多の年間数字。
- **2025:** 記録された件数は1,500件以上で、さらに急激な増加を示している。
- **抗議関連の死刑執行：** 2022年の蜂起後9件。2026年初頭からの新たな波では、2026年4月30日までの42日間に10件の絞首刑を含む。
- **使用された罪状：** モハーレベ（神に対する戦争）、エフサデ・フェル・アルズ（地上における腐敗）、バギ（武力蜂起） — すべて死刑に相当し、すべて解釈の余地が大きい。
- **手続き：** 革命裁判所、非公開審理、拷問による自白、承認されたリストから選任された弁護人、家族への通知なしに執行されることが多い死刑。

抗議活動における死刑判決がどのように構築されるか

これらの事件は、偶然ではなく手続きとして説明できるほど一貫したパターンに従っている。これはアムネスティ・インターナショナル、イラン・ヒューマン・ライツ、国連真相究明ミッションによって詳細に記録されている。

セクション 5

弾圧機構

簡潔な回答。 IRGC（イスラム革命防衛隊、またはセパーフ・エ・パスダラン）は、1979年に国境ではなくイスラム共和国を防衛するために創設されたイランの並行軍事組織である。最高指導者に直属し、バシージ民兵組織と海外作戦を担うゴドス部隊を統括し、イラン経済の大部分を掌握している。

IRGCは何の略か？

IRGCは **イスラム革命防衛隊**の略称であり、ペルシア語では **セパーフ・エ・パスダラン・エ・エンケラーブ・エ・エスラーミー**（سپاه پاسداران انقلاب اسلامی）と呼ばれ、通常は **セパーフ**と短縮される。1979年4月、革命から数週間後に布告によって創設され、正規軍（アルテシュ）とは別に、新たな聖職者指導部に忠誠を誓う部隊として組織された。

IRGCを統制するのは誰か？

IRGCは **最高指導者**、現在はアリー・ハーメネイーであり、選挙で選ばれた大統領や議会に対してではない。その最高司令官は最高指導者によって任命され、解任されることもある。この指揮系統こそが、革命防衛隊が国家軍ではなく、体制の私兵として理解されるべき理由である。

革命防衛隊の主な部門は何か？

部門	役割
地上部隊	国内治安と州の統制；抗議活動への投入。
航空宇宙部隊	弾道ミサイルと無人機。
海軍	ペルシャ湾とホルムズ海峡での高速攻撃艇。
ゴドス部隊	イラン国外での工作活動と代理ネットワーク。
バスィージ	街頭弾圧と監視のために動員される志願民兵。
情報機関	逮捕、尋問、および刑務所内での独自の管理区画。

バスィージとは何か？

The **バスィージ抵抗部隊** は、革命防衛隊の大衆志願民兵であり、モスク、学校、大学、職場を通じて組織されている。私服でオートバイに乗ったバスィージ隊員は、デモ隊を殴打し発砲する姿が最も頻繁に撮影される部隊であり、その地域組織は後に抗議者を特定する密告者も供給している。

なぜ革命防衛隊は経済的にそれほど強力なのか？

エンジニアリング・コングロマリット、港湾、通信事業、建設契約、非公式な輸入ルート of 支配を通じて、革命防衛隊はイラン経済の大きな部分を掌握している。その資金は恩顧ネットワークに資金を供給し、指揮官を通常の政治的圧力から隔離する——これは個人に対する制裁の効果が限定的である理由の一つである。 [制裁](#) のページで、何が誰によって指定されているかを参照されたい。

抗議活動において革命防衛隊はどのような役割を果たしているか？

During the 2025～2026年の蜂起の間、革命防衛隊の地上部隊とバスィージ部隊は、ファラジャ警察や私服の工員とともに展開された。記録された行動には、群衆への実弾発射、顔や目を狙った散弾銃の使用、大量逮捕、そして最も過酷な夜の前に実施されたインターネット遮断が含まれる。単一の事件で最も多くの死者を出した事例は、私たちの [二夜](#) ページ

イランの道徳警察（ガシュテ・エルシャード）の歴史、法的根拠、被害者。2022年のマフサ・アミニ拘束事件と2024年のヌール計画による弾圧を含む。

道徳警察。

イランの指導パトロール（ガシュテ・エルシャード）——一般に「道徳警察」と呼ばれる——は、公共の場における女性へのイスラム共和国の強制服装規定を執行する制服部隊である。その将校らはマフサ・アミニの死の数時間前に彼女を拘束した。2024年、政府はヌール（「光」）計画の一環としてパトロールを再活性化した。

イランの道徳警察とは何か？

「指導パトロール」（ペルシア語：ガシュテ・エルシャード、گشت ارشاد）は、2005年にマフムード・アフマディネジャド大統領のもとで創設された、FARAJA国家警察の専門部隊である。その正式な任務は、イスラム共和国の解釈に基づく「公衆の貞節」——圧倒的に女性の衣服、髪、公共の場での振る舞いに向けられている——を執行することである。

道徳警察はどこから来たのか？

強制的なベール着用は、1979年3月のホメイニ師の布告によって課され、1983年に法典化された。1979年から1992年までの執行は、**コメテ**（革命委員会）とバシジによって行われた。指導パトロールは、2005年にそれ以前の「貞節パトロール」に代わり、目立つ車両を備えたより可視性の高い制服部隊を提供した。

道徳警察はどのように活動するのか？

2〜4人の将校——通常はチャドルを着た女性1人と男性2人——からなるパトロールが、地下鉄の入り口、公園、ショッピングモール、大学の門で白と緑のバンから活動する。違反していると判断された女性は警告を受け、写真を撮られ、しばしばバンに強制的に乘せられ、「ヴォザラ」式の拘置所に連行され、「再教育」のための説明、罰金、または裁判所への移送を受ける。

道徳警察はマフサ・アミニを殺したのか？

2022年9月13日、指導パトロールの部隊が、テヘランのハッカニ地下鉄駅で22歳のマフサ（ジナ）・アミニを拘束した。2時間以内に彼女はヴォザラ拘置施設で重度の頭部外傷の兆候を示して倒れ、9月16日に死亡した。**イランに関する国連独立国際真相究明ミッション** 2024年に、彼女の死は国家当局による「身体的暴力」の結果であると結論づけられた。

2022年に道徳警察は本当に停止されたのか？

2022年12月、「女性、命、自由」抗議運動のピーク時に、イランの検事総長モハンマド・ジャファル・モンタゼリは指導パトロールが「閉鎖された」と述べた。**内務省はこれを確認しておらず**、公式な布告も出されず、数週間以内にテヘランや他の都市でパトロールが観察された。「停止」は国際的な観客を対象とした偽情報だった。

2024年の「ヌール計画」とは何か？

2024年4月13日、FARAJAは**ヌール（「光」）計画**を発表した。これはヒジャブ非遵守に対する全国的な取り締まりの強化である。数週間のうちに、何百人もの女性が逮捕され、ヒジャブを着用していない客にサービスを提供した事業所は閉鎖され、少なくとも一人の女性——アレズー・バドリ——がマーザンダランで車を止めることを拒否したために警察の銃撃を受けて射撃され、麻痺した。ヌール計画は2026年現在も継続している。

イランにおける強制ヒジャブの歴史（1979〜2026年）：刑法第638条、2023年「貞潔・ヒジャブ法案」、2024年「ヌール計画」、そしてそれに抵抗する女性たち。

イランのヒジャブ法。

強制ヴェールは1983年からイラン法に明記されている。2023〜2024年の「貞潔・ヒジャブ法案」は罰則を拡大し、最大8500米ドルの罰金、10年の禁錮刑、鞭打ち刑、渡航禁止を含むものとした。このページでは、法律、その執行、そして抵抗する女性たちを追跡する。

イランはいつヒジャブを強制したのか？

1979年3月7日、革命から1か月も経たないうちに、ホメイニ師は政府職場の女性にヒジャブ着用を義務付ける布告を出した。1979年3月8日（国際女性デー）のテヘランでの大規模な女性の抗議行動により、一時的に撤回を

余儀なくされた。1980年7月までにヒジャブはすべての公的機関で義務化され、1983年7月26日、新たなイスラム刑法（第102条、後に第638条）は、「適切なヒジャブなし」で公の場に現れる女性を犯罪とした。

現行法は何を定めているのか？

イラン・イスラム刑法第638条は、「シャリーアに従ったヒジャブ」なしで公の場に現れた女性に対し、10日から2か月の禁錮または罰金を科すと規定している。実際の執行では、第639条（公衆道徳の腐敗）、営業許可規則、および女性の乗員がヴェールを着用していない車両を押収するために用いられる交通法規も援用されている。

2023年「貞潔・ヒジャブ法案」とは何か？

2024年末に護憲評議会で承認され、2024年12月に施行された「**貞潔・ヒジャブ法案**」は、「不適切なヒジャブ」に対する罰則を以下のように強化している：

- 最高 **3億6000万トマン**（約8500米ドル）の罰金。これは中央値の月収の25倍以上である。
- 最高 **10年** の禁錮刑（再犯者またはオンラインで「ヌードを助長する」者に対して）。
- ヴェールを着用していない客にサービスを提供する事業者に対する責任（店舗の封印、許可証の取り消し）。

2024年「ヌール計画」

2024年4月13日、法案の正式成立前から、ファラジャ（治安部隊）は「**ヌール（光）計画**」を開始した。これは全国規模の街頭監視キャンペーンである。顔認識ソフトを搭載した監視カメラが、スカーフを着用せずに外出した女性のナンバープレートを自動的に特定し、違反通知を発行する。詳しくは 道徳警察。

誰が抵抗しているのか？

市民的不服従は広がっている。女性たちはカフェ、地下鉄、大学、コンサート会場でスカーフを着用せずに現れている。実名が明らかになった事例として、**ロヤ・ヘシュマティ**（2024年1月、鞭打ち74回）、**セビデ・ラシュノ**（2022年、強制テレビ「自白」）、**マフサ・アミニ**（2022年9月、拘束中に死亡）、**アルミタ・ゲラヴァンド**（2023年10月、ヒジャブ取締当局により死亡）、そしてマシハ・アリネジャドが創設した「**ホワイト・ウェンズデイズ**」および「**マイ・スティールシー・フリーダム**」運動の活動家らがいる。

重要ポイント一覧

- **義務化開始**：1979年に国家公務員に適用。1983年に議会が全ての女性の公共の場での着用を法制化。
- **根拠法**：イスラム刑法典第638条 — 「宗教的ヒジャブ」を着用せずに外出した場合、10日から2ヶ月の禁固刑または罰金。
- **対象**：公共の場にいる9歳以上の全ての女性。外国人訪問者や非イスラム教徒も含む。
- **取締機関**：「指導パトロール」そして、2024年4月からは、カメラを用いた「**ヌール計画**」が導入された。
- **係争中の法案**：「ヒジャブと貞潔法案」は2023年9月に議会通过したが、2024年12月以降は撤回ではなく停止状態にある。
- **街頭の実態**：2022年以降、大都市では大規模な不服従が発生。取り締まりは逮捕から罰金、監視、サービスの排除へと移行した。

最高指導者、イスラム革命防衛隊（IRGC）とコッズ部隊の司令官、司法府、護憲評議会、そして体制の主要なイデオログたち——2026年のイランにおける権力の人物録。

記録の背後にある名前。

イスラム共和国における権力は、最高指導者府、イスラム革命防衛隊（IRGC）、そして候補者を審査し判決を下す聖職者・司法機構という三つの重なり合う構造を通じて機能する。このページでは、2026年にそれらのポストを占める人物、各々が掌握するもの、そして国際的な制裁下にある者たちを紹介する。ここでの主張はすべて、公職、公式声明、公表された指定リストに基づく。

アリー・ハーメネイー — 1989年よりイスラム共和国最高指導者

1939年マシュハド生まれ。1981年から1989年までイラン大統領を務め、1989年6月のホメイニ師死去に伴い最高指導者に就任。イラン憲法下で軍の最高司令官であり、司法府の長、護憲評議会の半数、国営放送（IRIB）の責任者を任命する。核政策、地域戦略、抗議活動への対応に関する最終決定権を持つ。2022年から2026年にかけての抗議活動の弾圧と人権侵害に関連し、米国、欧州連合（EU）、英国、カナダから制裁対象に指定されている。

モジタバ・ハーメネイー — 聖職者、最高指導者の息子、後継候補として頻繁に名前が挙がる

1969年生まれ。公的な役職には就いていないが、イランおよび国際メディアは、最高指導者府や治安機構の一部に影響力を行使していると広く報じている。2009年の緑の運動以降、後継者候補として繰り返し名前が挙がっており、当時、反体制派は彼が弾圧を調整したと非難した。彼の正確な役割に関する主張は議論の余地があり、公開情報からは検証がほぼ不可能である。

エスマーイール・ガーアニー — 2020年よりIRGCコッズ部隊司令官

2020年1月の米国によるバグダッド攻撃で殺害されたガーセム・ソレイマーニーの後任。コッズ部隊はIRGCの国外活動部門であり、テヘランがイラク、シリア、レバノン、イエメンの同盟民兵組織に資金、武器、指示を送る経路である。米国、EU、英国から制裁対象に指定されている。

ホセイン・サラミー — イスラム革命防衛隊（IRGC）総司令官

キャリアIRGC将校で、2019年4月に総司令官に任命された。IRGCはイランのミサイル・無人機計画、ハータム・アル＝アンビヤーなどの関連コングロマリットを通じた経済の大部分、そしてバスイージを通じて抗議活動における殺害で最も頻繁に名指しされる国内治安部隊を掌握している。IRGCは米国によりテロ組織に指定され、他国からも禁止または制裁対象とされている。

ゴラームホセイン・モフセニー＝エジェイー — 2021年より司法府長官

元情報相、検事総長。司法府長官として、世界で最も高い一人当たり執行率を誇るイランの死刑執行命令を出すシステムを統括する。2024年には900件以上の死刑執行が記録され、2025年にはさらに多い総数が報告されている。2011年より重大な人権侵害によりEUの制裁対象。

アフマド・ジャンナティー — 護憲評議会書記、専門家会議議長

1927年生まれ。1992年より護憲評議会を率いる。護憲評議会はずべての議会・大統領候補を審査し、その大量の資格剥奪は、投票開始前にイランの選挙競争を閉ざす仕組みである。EUと米国から制裁対象に指定されている。

モハンマド・メフディー・ミールバーゲリー — 強硬派聖職者、専門家会議議員

コムを拠点とする「イスラム文明構築」の理論家であり、イラン国内の議論で最も頻繁に引用される強硬派聖職者の一人。彼の講義は、現代の社会科学、技術、統治を聖職者の権威に従属させることを主張し、西側との交渉やヒジャブ着用義務の緩和に一貫して反対している。彼は、ハーメネイー後の後継体制を形成すると予想されるイデオロギー派の先駆けとしてしばしば見なされている。

セクション 6

国際社会の対応

世界の偽善

2026年の紛争に対する西側諸国の支配的な姿勢は「自制」でした。それは人道的配慮を装い、あたかもそれが道徳的な立場であるかのように見せかけました。しかし、イラン国民の命に関する実際の記録は、その主張とは正反対のものです。

象徴的な制裁と、原油の容認。

欧州各国の官邸が民間人保護の名の下に事態の沈静化を訴えていたまさにその数ヶ月間、イスラム共和国は史上いかなる時よりも速いペースで民間人を殺害していました——二夜にして数万人、その後は2日に1人の政治的な絞首刑。「戦争反対」の立場は、これらの命を救いませんでした。それは、体制が吸収できない唯一の力、すなわち指導部への外部からの圧力を妨げるために利用され、すでに進行中であった国内の暴力には何ら歯止めをかけませんでした。

石油を追え。「真紅の冬」の3ヶ月前である2025年9月**2025年9月**、イランは原油を日量**日量213万バレル**輸出しました。これはその年の月間最高値であり、トランプ政権第1期の「最大限の圧力」のピークを上回る水準でした。そのおよそ80%は**87%**が中国向けで、**ブレント原油を1バレルあたり10〜30ドル下回る価格**で販売され、45日間の影の銀行網を通じて決済されました。FDD、2025年10月。

中国だけでイランの石油の約80%**90%**を購入しており、これはイラン政府予算の約40%**45%**に相当します——IRGCとバスイージに給料を支払うための予算です。米中経済安全保障調査委員会、2025年11月。

スローガンは西側の燃料ポンプのためであり、イラン国民の命のためではなかった。

これが構造です。**体制の象徴は制裁し、その原油は容認する**。風紀警察は制裁するが、彼らに給料を支払うタンカーは容認する。IRGCは指定するが、その装備の財源となる石油の流れは免除する。路上で撃たれ、刑務所で絞首刑に処されるイラン国民が、世界の他の国々が手放したくない安価な燃料の代償を払っているのです。

そしてスローガンが叫ばれます。「戦争反対」と。まるで戦争がまだ始まっていないかのように——イラン国内で、イラン国民に対して、1981年、1988年、2009年、2019年、2022年、そして再び2026年1月に。まるで、自国の都市の中心部で『Zan, Zendegi, Azadi』の旗を掲げたデモ参加者たちが、3万人もの同胞を埋葬したばかりではないかのように。まるで、47年間にわたる国内戦争が、西側のプラカードによって消し去ることができるかのように。

イラン国内のイラン人が明確に述べてきたこと——BBCやCHRIの証言によれば——は、現在の断絶は避けるべき悲劇ではなく**避けるべき悲劇ではなく**、体制が実際に崩壊する可能性のある、一世代ぶりの好機であるということだ。彼らはその代償について現実的です。彼らは国際社会に解放を求めているわけではありません。彼らが求めているのは、自分たちを捕らえている者への補助をやめることなのです。

連帯とはスローガンではありません。それはIRGC指定の執行です。イラン産原油が中国の港に届くことを許す抜け穴を塞ぐことです。体制内部者のロンドンの不動産を凍結することです。ヒジャブを脱いだために目を撃たれたイラン人にビザの道を開くことです。それ以下は、このサイトがすでに16章にわたり記録してきた歴史そのものです。**沈黙、利益、そして裏切り**

欧州——言葉、制裁、都合の良い慎重さ

EU初の対イラン人権制裁（理事会規則359/2011）は2011年4月12日に遡ります。マーサ・アミニの死後、6回にわたる拡大を経て、制裁リストは個人204名と34団体**個人204名と34団体**に及びました。**2023年1月18日**2023年1月18日**598対9**、欧州議会は賛成598票、反対9票、棄権31票

でIRGCをテロ組織に指定することを議決しました。EU理事会はこれに追随しませんでした。外務・安全保障政策上級代表のジョセップ・ボレルは、裁判所の判決がないと主張しましたが、2024年にリークされた理事会自身の法的見解では、そのようなEU裁判所の判決は必要ないとされていました。IRGCが最終的にリストに加えられたのは、「真紅の冬」が過ぎ、地政学が動き去った後の2026年1月下旬でした。

EUとイランの貿易は年間180億ユーロ**年間180億ユーロから2025年には37億ユーロ**に激減しました。フランス、ドイツ、イギリスが2019年に立ち上げた特別目的事業体であるインステックスは、2023年に解散する前に、わずか1件の取引（約50万ユーロの医薬品）を完了したのみでした。イランが2026年2月にホルムズ海峡を封鎖した際、欧州の化石燃料輸入費用は60日間で270億ユーロ**60日間で270億ユーロ**増加しました。

ワシントンとエルサレム——指定、禁止、戦争

イランは1979年**1984年1月19日**以来、米国の**テロ支援国家**リストに掲載されています。IRGCは**2019年4月8日**に外国テロ組織に指定されました。他国政府の軍隊の一部がこのような指定されたのは初めてのことでした。

2015年7月14日に調印されたJCPOA（包括的共同行動計画）は、2018年5月8日にトランプ政権によって破棄されました。渡航禁止令（2017年1月27日の大統領令13769号）とその後継である2025年の禁止令は、体制から逃れてきたイランの学生、医師、難民を巻き込みました。これは、体制がほとんど感じる事のなかった政策の巻き添え被害です。

影の戦争における作戦は、核開発の設計者**モフセン・ファフリザデ**の暗殺（2020年11月27日）、イスラエルの「悔い改めの日々作戦」（2024年10月26日）、そして米・イスラエル合同の「**エピック・フューリー作戦**」（2026年2月28日）で頂点に達しました。

抗議者殺害、拷問、ヒジャブ強制に関与したイラン当局者を指名。議員・国会議員・欧州議会議員宛てのマグニツキー型制裁推進のための書簡テンプレート付き。

制裁

抗議者殺害、囚人への拷問、強制的なヒジャブ着用に関与したイラン当局者に対し、指名された加害者リストと議員宛てのテンプレート書簡を用いて、自国政府にマグニツキー型制裁を働きかけるための実践的ガイド。

なぜ制裁なのか？

普遍的管轄権に基づく訴追は時間がかかる。制裁はそうではない。指名された加害者（裁判官、刑務所長、イスラム革命防衛隊司令官、ファラジャ司令官）に対するマグニツキー型の資産凍結と渡航禁止は、即座に個人的な代償を課し、中堅の当局者に「自らの関与は記憶される」というシグナルを送り、将来の裁判のための証拠の連鎖を生み出す。

指名された加害者

以下の当局者は、国連イラン真相究明調査団、アムネスティ・インターナショナル、イラン人権センター（IHR）、HRANAによって公に指名されている。そのほとんどはすでにEUおよび/または英国の制裁下にあるが、米国の制裁下にある者は少数であり、カナダやオーストラリアの制裁下にある者はほぼ皆無である。

- **アリー・ハーメネーイ** — 最高指導者。イスラム革命防衛隊、司法府、護憲評議会に対する最終的な権限を有する。制裁対象：米国、英国。
- **ホセイン・サラミー** — 2019年よりイスラム革命防衛隊総司令官。制裁対象：EU、英国。
- **ゴラームレザー・ソレイマーニー** — バスィージ司令官。制裁対象：EU、英国。
- **アフマドレザー・ラーダン** — 2023年1月よりファラジャ長官。指導パトロールおよび2024年「ヌール計画」を統括。制裁対象：EU、英国。
- **ゴラームホセイン・モフセニー＝エジェイー** — 2021年より司法府長官。複数の抗議者に対する死刑判決に自ら署名。制裁対象：EU、英国。
- **アボルガーセム・サラヴァーティー** — 「死刑判決の裁判官」、テヘラン革命裁判所第15支部。EU・英国・米国による制裁対象。
- **モハンマド・モギッセ** — テヘラン革命裁判所第28支部。2024年1月に暗殺されたが、民事請求において遺産関連の対象。
- **エスマイル・ハティブ** — 情報大臣（エテラアト）。EU・英国による制裁対象。

このリストは例示であり、網羅的ではありません。国連実態調査団の秘密付属書には数百人の中級官僚の名前が記載されています。外務省に働きかけて行動を促してください。

英国議会議員宛て

親愛なる[議員名]様 私はあなたの選挙区の有権者として、外務・英連邦・開発省に対し、2020年グローバル人権制裁規則に基づく英国の制裁を拡大し、2024年3月の国連イラン独立国際実態調査団報告書に記載された全職員を対象とするよう働きかけることをお願いいたします。特に現在の英国リストには、FARAJA特殊部隊司令官ハサン・カラミや、モフセン・シェカリ、マジドレザ・ラフナバルド、モハンマド・メフディ・カラミ、セイエド・モハンマド・ホセイニの死刑判決を担当した複数のテヘラン革命裁判所判事が含まれていません。(1) これらの指定がいつ行われるかについて外務大臣への書面質問を提出し、(2) 私に代わって外務大臣に書簡を送っていただければ幸いです。敬具
[あなたの氏名と住所]

米国上院議員または下院議員宛て

親愛なる上院議員/下院議員[名前]様 私は[州/選挙区]の有権者です。マフサ・アミニ人権・安全保障説明責任法の完全実施を支持し、国務省とOFACに対し、大統領令13553号およびグローバル・マグニツキー法に基づき、2024年3月の国連イラン実態調査団報告書に記載された全職員を指定するよう働きかけることを求めて書簡を送ります。具体的には、米国の制裁は依然としてFARAJA特殊部隊司令官ハサン・カラミや複数のテヘラン革命裁判所判事を対象としていません。あなたの見解を示す書面での回答をいただければ幸いです。敬具
[あなたの氏名と住所]

2025年6月の12日間戦争と2026年の「エピック・フューリー作戦」：なぜ多くのイラン人がイスラム共和国への外国軍の攻撃を歓迎したのか、標的記録が示すもの、そしてそれでも殺された民間人たち。

8か月の間に2度、イスラエルと米国はイスラム共和国を空から攻撃した。2025年6月の12日間戦争、そして2026年2月28日に開始された「エピック・フューリー作戦」である。後者は、国家が自国の路上で抗議者を銃撃している最中に開始された。ほとんどの国では、このような攻撃は国民を政府の背後に結束させる。イランでは、ほぼその逆が起きた。その理由が、このページの主題である。

何が起きたか

2025年6月 13日～24日	12日間戦争 イスラエルはイランの軍事・核インフラに対する空爆作戦を開始し、最初の数時間でイスラム革命防衛隊（IRGC）の上級司令部の多くを殺害した。米国軍機は強化された濃縮施設を攻撃した。6月24日に停戦が成立した。独立監視団は、イラン国内で1000人以上の死者を数え、そのうち数百人が民間人であったと報告している。
2025年12月～2026年2月	クリムゾン・ウィンター 2度の作戦の間に、イスラム共和国は、外国の空軍が近づくことのない規模で自国民を殺害した。2026年1月8日と9日だけで IRGCは非武装の群衆に向けて発砲するよう命令された。これが、イラン人が次に何が起きるかを判断した文脈である。
2026年2月 28日	エピック・フューリー作戦 交渉が決裂した後、米国とイスラエルは共同作戦を開始した。最初の12時間で約900回の攻撃が、防空システム、ミサイル生産施設、IRGCおよびバシージの指揮拠点に対して行われた。最高指導者アリ・ハメネイは最初の攻撃の波で死亡した。イランは無人機と弾道ミサイルで報復し、2度目の全国的なインターネット遮断が国を覆った。2月の記録を見る。

なぜ多くのイラン人は敵と見なさなかったのか

国旗の周りに結集することは、爆撃されたときの通常の反応である。しかし、ここではそれは起こらなかった。少なくともイスラム共和国が期待した規模では起こらなかった。国営テレビは侵略者に対する国家の団結を呼びかけたが、街は応じなかった。いくつかの都市では、抗議者が同じ週に街に出て、航空機に対してではなく、政府に対してシュプレヒコールを叫んだ。

- **国家はすでに彼らに対して宣戦布告していたのだ。** 数週間前に自国民を何千人も射殺した政府が、国家の保護者として自らを信頼に足る形で提示することはできなかった。

- **標的は抑圧の道具だった。** 空爆されたIRGC司令部、バシジ・ネットワーク、治安機関は、弾圧、刑務所、処刑を実行したのと同じ組織である。
- **「ガザでもレバノンでもない」。** 2009年以来、繰り返し唱えられる抗議のスローガンは、イラン人がパンを求めて列をなす一方で、国外の代理勢力に数十億ドルが費やされていることに異議を唱えてきた。多くのイラン人は、イスラエルを自分たちの争いとは見なしていなかった。
- **47年にわたる、尽きた選択肢。** 改革、ボイコット、ゼネスト、大規模抗議——すべて試みられ、すべて銃弾で答えられた。あらゆる内部の道が閉ざされた時、外部からの圧力だけが唯一残されたてこととして見えるようになる。

セクション 7

方法論と限界

依拠する情報源

- **イラン人権団体（IHR）** — オスロ拠点。死刑執行数の一次情報源。
- **HRANA — 人権活動家ニュース通信社** — イラン国内ネットワーク。逮捕者数の一次情報源。
- **アムネ스티・インターナショナル** — 個別事例の調査と人権分析。
- **国連人権理事会イラン真相究明ミッション（OHCHR）** — 最も権威ある法的記録。
- **ヘンガウ クルド地域に関する情報源。 バルーチ活動家キャンペーン** スィースターン・バルーチェスタン州に関する情報源。
- **アブドルラフマン・ボルマンド・センター（オミッド）** — 1979年から現在までの歴史的アーカイブ。
- **ロイター、BBC、AFP、ル・モンド、AP通信** — 現場写真と確認済み報道。

記録への掲載基準

1. 死亡、逮捕、または判決は、少なくとも2つの独立した監視機関、または1つの監視機関と家族の確認、または裁判所文書によって立証されなければならない。
2. 死因は情報源によって明示されなければならない。政府が死因に異議を唱える場合、両方の見解を記載する。
3. 写真は、重大な人権侵害の記録を目的としたフェアユースの編集規定に基づき、クレジットが判明している場合はそれを付して転載する。

本サイトの集計数

当サイトで「～」と言う場合 **4万2000人以上が死亡** および **10万人以上が拘束** ——2025～2026年のクリムゾン・ウィンターについて、これらの数字はIHR（イラン人権機構）とHRANA（イラン人権活動家ニュース機関）の2026年2月時点の報告を合算したものです。控えめな数字であり、インターネット遮断を考慮すると実際の数はこれを上回ります。

2022年蜂起の数字（死亡551人以上、うち子ども71人、拘束2万2000人以上）は、2023年2月時点のIHRとアムネ스티・インターナショナルの集計です。

主要な検証報告（2026年）

- BBCニュースおよびBBCニュース・ペルシア語版——「イランの抗議活動弾圧の犠牲者の名前と顔を公開」（2026年2月9日）BBCペルシア語フォレンジック班は、死亡した抗議者200人以上の身元を検証した。
- BBCペルシア語——犠牲者インタラクティブアーカイブ。
- イラン人権機構——ササン・アザドバル氏、42日間で10人目の絞首刑執行（2026年4月30日）。
- イラン・インターナショナル——処刑された18歳のアミルホセイン・ハタミ氏の遺体が引き渡されず（2026年4月）。
- ウィキペディア——2026年イラン大虐殺（継続的に更新される百科事典的記録）。

訂正

新たな情報、欠落した名前、誤った日付、または本サイトの記事に関する訂正がある場合は、corrections@iranholocaust.orgまでご連絡ください。すべてのメールに目を通します。

矛盾する死者数の扱い方

イランに関する報道で最も多い失敗は、出典や日付を示さずに単一の数字だけを提示することです。当サイトでは互いに矛盾する数字を決して統合しません。組織間で見解が異なる場合、各数字はそれを発表した団体、最終確認日、およびその測定対象とともに表示されます。

種別	定義	例
確認済み実名数	2つの独立した情報源から氏名・日付・場所が確認された個人	死者7,007人（HRANA、2026年2月23日）
公式発表	イラン国家自身が公表した数字。最低限の数値として扱い、総数とはみなさない	3,117人（イラン当局、2026年）
登録・文書ベース	病院記録や内部流出文書に基づく	2026年1月8～9日の病院登録死者数30,304人
推定・主張	政治関係者やネットワークによる予測・声明。常にその旨を明記	約5万人（レザー・パフラヴィー、在外イラン人コミュニティと医療ネットワークに基づく）

画像と映像

本サイトの写真はウィキメディア・コモンズ、機関提供資料、または記録団体から提供されたもので、外部リンクが切れてもページの表示が勝手に変わらないようローカルに保存しています。キャプションには何が写っているか、また該当する場合は、特定が当サイトではなく記録団体によるものであることを明記します。家族が提供した肖像写真が存在する場合、遺体の生々しい画像は掲載しません。実際の出来事、人物、場所を描写するために生成画像は使用せず、イラストを生成した場合はその旨を明記します。

翻訳

ページは41言語で公開されています。翻訳は機械翻訳を活用し、その後、用語・氏名・数字（現地の異なる数字に置き換えない）を確認しています。翻訳版が英語版より遅れている場合、英語版が正本となります。翻訳の誤りは訂正用アドレスまでお知らせください。言語とURLを記載すれば十分です。

独立性と資金

本サイトは、いかなる政府、政党、亡命組織（ムジャーヒディーン・ハルグやNCRIを含む）、または商業スポンサーからも資金提供を受けていません。広告は掲載せず、寄付も受け付けていません。コンテンツはクリエイティブ・コモンズ表示4.0のもとで公開されており、同意しない団体も含め、許可なく複製・翻訳・再出版することができます。

セクション 8

提言

これらの提言は、上記に示された記録に基づいており、行動する権限または能力を持つ国家、多国間機関、および市民社会組織に向けられています。

1. イランに関する独立した国際調査権限を拡大し、適切な資源を割り当て、2025年から2026年の出来事に対する明確な管轄権を与える。
2. 証拠を保全する：検証済みのビデオ、医療記録、裁判所文書、埋葬記録を、将来の訴訟で許容される基準でアーカイブする。
3. 殺害、拷問、不公正な死刑裁判に関与した氏名が特定された司令官、裁判官、刑務所職員に対し、標的型措置を適用する。
4. シャットダウン時に、イランのユーザー向けに迂回ツールと弾力的な接続性を支援する。
5. 迅速な人道ビザの発給などにより、犠牲者の家族および釈放された被拘禁者を報復から保護する。
6. 抗議者の処刑に関する各国の立場を公表し、個別のケースを氏名で提起する。

付録

情報源およびデータセット

アーカイブ全体で依拠した一次資料および二次資料、並びに本報告書中の数値の出典となった機械可読データセット。

当サイトが行わないこと

- いかなる政府、政党、亡命グループ、NGOからの編集指示も受けません。
- プライバシーを求める家族からの圧力で氏名を公開することはありません。

独立性

政府、政党、亡命派閥、NGO、寄付者のいずれも編集権を持たない。本サイトは広告も寄付も受け付けない。管理者はボランティアとして時間を提供している。

写真とライセンス

ウィキメディア・コモンズの写真は、記載されたライセンスに従いクレジットを付けて転載している。BBC、ロイター、AP、AFP、ル・モンド紙経由のSipaの画像は、重大な人権侵害を記録するためのフェアユース編集規定に基づき、既知のクレジットを付けて転載している。

AIの利用

生成AIは、出典を明記した資料の翻訳草稿とコピー編集にのみ使用している。本サイトにはAIが作り出した引用、画像、人物は一切登場しない。すべての事実は人間が確認した一次資料に基づく。

訂正方針

誤りは確認後48時間以内に訂正する。重大な訂正（名前、死因、日付の誤り）は該当ページの下部に記録する。連絡先：corrections@iranholocaust.org

アクセシビリティ

全ページがWCAG 2.2 AAのコントラストと動きの低減目標を満たし、印刷可能なポスターバージョンを提供し、一度訪問すればオフラインでも動作する。

簡潔な回答： 名前、日付、場所、そして少なくとも2つの独立した証拠が揃った場合のみ、このアーカイブに死亡記録が登録される。それ以外は推定値または範囲として公開され、ここに示されるすべての数字は下限——証明可能な最小値であり、実際に発生した最大値ではない——として読まれるべきである。

五つの作業原則

1. **意図的に過小計上する。** すべての見出し数字は証明可能な最小値である。実際の数値が確実にそれより高い場合、その旨は数字に組み込むのではなく、文章で明記する。
2. **数える前に名前を記録する。** 集計は特定された個人から積み上げて行い、主張された総数から下方修正してはならない。
3. **不一致を明示する。** 信頼できる情報源が矛盾する場合、両方を掲載する。読者には、あらかじめ消化された合意ではなく、判断材料となる証拠を提供する。
4. **事実と推測を区別する。** 「治安部隊による殺害」と「拘束中の死亡」は異なる主張であり、異なる証拠を必要とする。アーカイブは一方を他方に格上げしない。
5. **生存者を保護する。** 生存する証人、治療にあたった医師、あるいはイラン国内にいる家族を特定できる詳細は、記録を強化する場合であっても伏せる。

ラベル	意味	必要な証拠	典型的な使用例
確認済み	引用に適した水準で確定	氏名が特定された事例で、独立した二つの情報源、または来歴が確認された一次資料	氏名が特定された犠牲者の記録、日付が特定された出来事、裁判の結果
文書化された下限	現時点で証明可能な最小値	検証済みの氏名特定事例のみの合計	死亡者数・蜂起ページの犠牲者総数
推定値	項目化はまだできないが、信頼できる数値	一次または二次情報源1件、または完全な事件詳細を欠く登録簿の抜粋	拘束中の総数；ブラックアウト期間中の死傷者
異論あり	同等の信頼性を持つ情報源間で見解が一致しない	信頼できる2つの情報源が実質的に異なる数字を示している	2026年1月時点の総数；1988年処刑の範囲
公式発表	比較用に記録された国家側の立場	国営メディア、司法機関、または議会の声明	比較ページ

文書化のパイプライン

資料は4つの経路（公開された監視団報告書、仲介者から提供された一次資料、オープンソース画像、家族や生存者からの直接証言）で流入する。各項目は経路とともに記録される。経路によって重み付けが変わるためである。

- **受付** 項目はメタデータと来歴情報とともに未編集のまま保存される。
- **重複排除** 氏名は翻字体系間で標準化される。例えば、ペルシア語の単一の氏名が5つの監視団で6種類のラテン文字表記で現れる可能性があるため、日付と州で照合される。
- **裏付け** アーカイブは真に独立した第二の情報源を探す。同じ監視団を引用する2つのメディアは1件とみなす。
- **分類** 死因、状況、場所の種類（路上、拘束中、病院、処刑場）、年齢層が記録され、子ども犠牲者の割合などのパターンを主張ではなく測定可能にする。
- **公開とレビュー** 記録は犠牲者データベース および関連する解説ページに追加され、情報源が更新されるたびに再検討される。

画像と動画の検証

映像資料は最も説得力がある一方、最も操作されやすい証拠カテゴリーであるため、最も厳格な検証が課せられる。逆画像検索による過去の出現確認、衛星画像や街頭レベルの参照による地理的位置特定、主張された日付との影や天候の一致、銃声や群衆の言語から方言を特定できる音声分析などである。いずれかのテストに不合格となった映像は、その内容が他の証拠と一致する場合でも公開されない。

倫理と同意

死者の写真は、その画像がすでに広く流通しており、公開が衝撃ではなく、身元確認、説明責任、または記憶に資する場合にのみ公開される。記録の匿名化や削除を求める家族の要請は、議論なく受け入れられる。イラン国内にいる人々からの証言は、経路情報を削除して扱われ、検証後は連絡先メタデータは保持されない。

同じ配慮が言語にも適用される。アーカイブは婉曲表現を避ける。人々は「失われる」のではなく「殺される」のであり、誇張も避ける。サイト名自体のような比較的枠組みは、47年にわたる組織的な国家による殺害の規模を説明するために使用され、概要ページでその論拠が詳述されている。

このサイトのすべての数字の背後にある唯一のルールは何ですか？

過大計上ではなく過小計上。証拠が不完全な場合、アーカイブは証明可能な低い方の数字を公表し、その旨を明記する。文書化された下限値は精査に耐えるが、水増しされた総数は記録全体の信用を失墜させるからである。

被害者がリストに掲載される前に必要な情報は何か？

名前（家族が匿名を希望する場合は安定した識別子）、日付、場所、既知の死因と死亡状況、そして少なくとも2つの独立した情報源。これらのいずれかが欠けている記録は保留ファイルに残され、カウントされない。

重複記録はどのように防止されますか？

エントリーは、名前の表記揺れ、日付、州、報告された状況に基づいて照合される。疑わしい重複は、2つの情報源が同一の特定可能な人物を説明している場合にのみ統合される。あいまいなペアは別々に保持され、フラグが付けられる。これもまた、総数を下方にバイアスする。

アーカイブは争われている数字をどのように扱いますか？

範囲を公表する。2026年1月の場合、公式の数字、独立して文書化された下限値、流出した登録簿からのより高い推定値を、それぞれの情報源と日付とともに並べて表示し、1つの数字にまとめることはしない。

訂正は公に行われますか？

はい。数字が変更された場合、以前の値、新しい値、理由、日付が記録され、その変更は更新ページに表示される。無言の編集は許可されない。

コンテンツの一部は自動生成されていますか？

編集ページは、リストされた情報源に基づいて人間が執筆し、レビューする。サイトの他の言語への翻訳は機械支援で行われ、その後、ネイティブスピーカーによるレビュー工程でチェックされる。英語のテキストは、矛盾が生じた場合の参照版として残る。

出典

iranholocaust.org のすべての数値は、ここに挙げる23の一次資料、NGO報告書、学術書、ドキュメンタリー映画のうち1つ以上に遡ることができます。

データセット

- **氏名が判明している犠牲者** — iranholocaust.org/data/victims.json
- **タイムライン, 1979-2026** — iranholocaust.org/data/timeline.json
- **主要事実** — iranholocaust.org/data/key-facts.json
- **組織名** — iranholocaust.org/data/entities.json
- **情報源引用** — iranholocaust.org/data/citations.json
- **比較残虐行為データ** — iranholocaust.org/data/comparison.json

引用: iranholocaust.org, 「The Crimson Winter: repression of the 2025-26 uprising in the Islamic Republic of Iran」 (09 September 2026)。
<https://iranholocaust.org/report.pdf>。ライセンス: CC BY 4.0。